



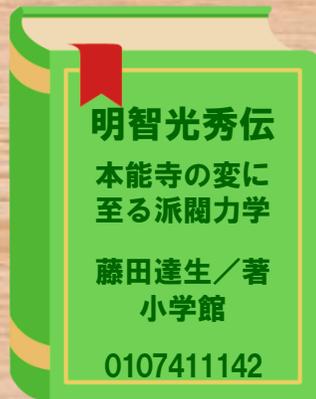
国盗り物語
全4巻

司馬 遼太郎／著

新潮文庫

0106171366 他

↑前半は齋藤道三が油売りから身を起し美濃一国を盗み取るまで、後半は道三に見出された織田信長と明智光秀が天下布武を目指すも、溝を深め、本能寺の変で散るまでを描く。司馬遼太郎の傑作小説。



明智光秀伝
本能寺の変に
至る派閥力学

藤田達生／著
小学館

0107411142

→なぜ本能寺で織田信長を討ったのか？主君を変えながら武功を重ねて頭角を現わした「知将」の人生をたどり、明智光秀という戦国ミステリーの主人公を読み解く。

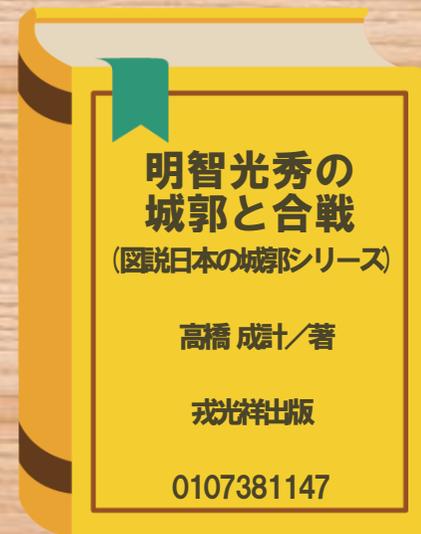
←「本能寺の変」研究の第一人者が、新出史料で歴史の真相を解き明かす。



明智光秀と
本能寺の変

渡邊 大門／著
ちくま新書

0107373607



明智光秀の
城郭と合戦
(図説日本の城郭シリーズ)

高橋 成計／著

戎光祥出版

0107381147



戦国時代に
チャレンジ!!

—明智光秀編—

「こんな時、この一冊」

大河ドラマをもっと楽しみたい時に...



織田信長
不器用すぎた天下人

金子 拓／著
河出書房新社

0107108524

↑浅井長政、松永久秀、明智光秀…。織田信長を裏切った7人を取り上げ、なぜ裏切られたのか、彼らの裏切りにどう対処したのかに注目し、織田信長の人間像を浮かび上がらせる。



細川ガラシャ夫人
上・下

三浦 綾子／著
新潮文庫

0106716822
0106716830

←16歳で細川忠興のもとに嫁いだ明智光秀の娘・玉子。女性が政略の道具として使われた時代にあつて、真の人間らしい生き方を求め、愛と信仰に殉じた細川ガラシャ夫人の生涯を浮き彫りにした小説。

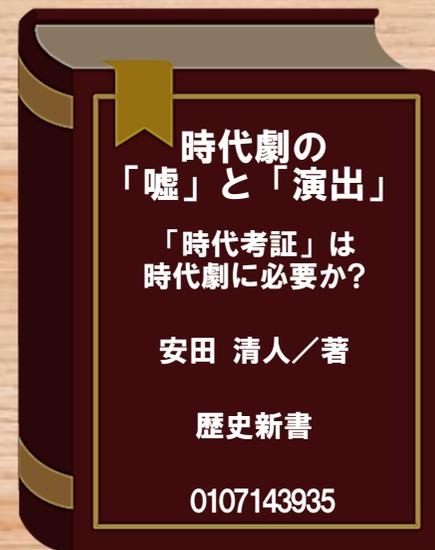
→齋藤道三の娘・帰蝶は夫の織田信長におびえながらも、織田家の奥を取り仕切り、戦乱の世をたくましく生きていく。女性目線から、信長の天下布武と本能寺の変を描き切った小説。



帰蝶

諸田 玲子／著
PHP 研究所

0106544711



時代劇の
「嘘」と「演出」

「時代考証」は
時代劇に必要なか？

安田 清人／著

歴史新書

0107143935

↑史実とエンターテインメントの交差する地点に時代劇の理想がある…時代考証という視点から時代劇を眺め、NHK 大河ドラマを始めとする時代劇について考察する。